

かたくり群生の郷 イメージ曲

初恋 (かたくりの花)

作詞・作曲 あるまんど山平

1. あなたの住む 湖の氷も もう解けたと鳥たちが言う
気づかないふりをして ずっと一緒にいたらいいのに
初めてのひとよ
春が来たなら あなたは此処から 遠くはなれて・・・
いつかまた逢える 水の澄むころ あなたへの想い永遠とわに変わらぬ
身を焦がすほどに凜こと佇りん たたずみ 黙もって見送る カタクリの花

2. ここで見送り そこから先は しばしの別れに想いをこめて
私の胸にきつと戻ると あなたの瞳めの中の 私を信じて
初めてのひとよ
哀しい夜たちも また逢えるときまでの きつとあなたへの・・・
こころふる揮ふるえて あなたへの想い いつしか花へと姿をかえて
想いは募もって薄紫の 黙もって見送る カタクリの花

この歌は、三湖伝説の主である八郎太郎が氷の解けた自分の住処・八郎瀧へ戻ってゆく折、北浦(旧西木村)まで見送りに来た辰子の気持ちにそって書かれています。

かたくり…は、英語名でも Katakuri です。花言葉は…「初恋」、「寂しさに耐える」とあります。

夏の間、田沢湖で八郎の帰りをじっと待つ辰子のけなげで、しかも何処か決意の強さを思わせる凜とした佇まいをこの花は持っています。旧西木村八津・鎌足ではこのかたくりの群生の郷があり、春の訪れを知らせてくれるかのように一斉に咲き北東北の春を告げてくれます。

A・Ymahira



カタクリの花

Kazuyoshi Akakura